

21 期 横溝君を偲んで 一天に一足先に出陣した殿へー

21 期の「殿」こと、横溝君が、本年 4 月 19 日に天に召された。

37 歳の時に脳出血に倒れ、大変な不自由があったと思うが、いつも前を向いて、明るく穏やかに皆に接し、OB 会の活動にも積極的に参加していた横溝君、改めて感謝の気持ちと敬意を表したい。

6 月 12 日、特に親交のあった方と 21 期の同期の仲間が、みなとみらいが一望できる横浜の高台にある久保山墓地に墓参りをしました。横溝君の妹さんがお越しくださり、コロナ禍で短時間の面談を予定していましたが、結局最後までずっと一緒にいて下さり、皆でゆっくり話をして横溝君を偲ぶことができました。風もない好天の下、「色々兄らしいエピソードが聞けました」と妹さんも喜んでくださり、これもすべて殿の采配なのでしょう。

毎年常盤祭では「みはるかす」を歌い、横溝君宅近くのちゃんこ屋さんでの同期会が恒例でしたが、昨年来コロナ禍でままならぬまま逝ってしまったことが心残りです。でも、いつまでも君のことは忘れず、また皆で集まる日を心待ちにしています。 合掌

村松

横溝君を偲んで山に登ることにした。生憎のコロナ禍で彼と登った山には行けず、単身赴任先の大分の久住山にいろいろと思い出しながら登った。彼は議論好きで、ある日部室で酔って議論していたら、経緯は忘れたが俺を殴れと彼が言った。じゃあ殴るぞと殴ったら曰く、グーで殴るとは思わなかったのにお前はグーで殴ったと。卒業後呑んでその話になると、いつもあの頃の部室に戻った。

彼は働き盛りで脳出血に倒れ不自由な身体となったが、きっとまた皆と山に登りたかったことだろう。どうか自由な身体に戻って好きな山を登って欲しい。

ご冥福をお祈りいたします。

鳥井

青い空、白い入道雲。夏が来たと思った。

コロナ禍の夏、今年は何も予定がない。でもこの梅雨明けのわくわく感。夏休み、夏合宿一と記憶を遡る。横溝君が逝った。山あり谷ありの人生を彼独自のペースで生ききったと思う。思い出せば、私の青春の一コマに彼が笑い、話し声が聞こえてくる。

あの頃の都内の空気は最悪だった。大気汚染。空気を入れ替えようと窓を開けると排気ガスのような匂いがして、すぐに閉めた。私が大学入学後、ワングルの戸を叩いたのは、そんな都会生活の中で何か無意識に自然なるものを求めていたことも一因のような気がする。同じ高校出身の彼と私は、運動が得意でもなく、どちらかといえば不器用ということでは共通していたと思う。その彼が何故ワングルを選んだかと聞かれた時、ふとそんなことが思い浮かんだ。

雲の上の世界の OB 会も賑やかになりつつある。

以前より死が身近に感じられる昨今、そう思うとちょっと安心できる私がいる。

河辺（山中）

横溝君が突然逝ってしまった。

一緒に苗名小屋に行ってから 45 年弱。私が諸々の事情で 2 年で退部してからも、皆と交流はあったが、彼は大学を卒業してからもワングル OB 会入会を熱心に勧めてくれた。今 OB 会に自分がいるのは本当に彼のおかげである。その恩返しも込めて、「体重が 60kg 以下になったらエバニューの背負子で苗名小屋まで連れていく」と言っていた約束は果たせなかった。

横溝君にまた会う時に向けて、彼が経験済で自分が未経験のルートに行ってみようかと考えている。巻機や道志は行けそうだが、十勝ルートはキツイかもだ。記憶力「だけ」は異常によかった彼と、あっちで会っても日本酒を飲みながら、山や時代小説の話をしたいと思う。 合掌

白木

横溝君の訃報に接し、謹んでご冥福をお祈りいたします。ワングル同期の中でも横溝君と私は体力のない部類で、入部当初はよくバテた！でも辞めずにお互い頑張った！一番思い出深いのは、3年生の夏合宿で登った大雪山系かなあ。現役最後、というのもあるし、憧れの北海道、というのもあった。同じ隊で行動して、楽しかったあ～！旭川での打上げも、盛り上がった！

最後に会ったのは2019年年末(21期の新年会下見)と2020年年始(横溝邸での新年会)。特に2019年年末の下見は横溝君とさし飲みで盛り上がった。またさし飲みしような、とメール交換したが、残念ながら実現しなかった。楽しい思い出をありがとう！ 合掌

藤倉

－早春の鈴鹿で－

横溝君と合宿やPWで一緒に隊になったのは、2年の終わりの春合宿でした。早春の鈴鹿山脈縦走は、「横溝君が発熱」という笑えないエイプリルフールのいたずらから始まりました。もうすぐ2年生になる1年生3名は、横溝先輩の一大事と仰天し、心配しながら自前の新しいタオルを水で濡らしにすぐにテントの外へ出て行ってしまいました。嘘だよーと言うタイミングを完全に逸してしまった我々上級生3名は、少々うろたえながら1年生が戻るのを待っていました。

いつもはニコニコ(ニマニマ?)している横溝君でしたが、その時の「やばいな」という顔と、嘘と知って怒った1年生に心底詫びている顔は、在学中に見た一番真剣な顔でした。

その後の隊の仲は、横溝君の人柄で収まったのですが、翌日からの大雨は収まらず、全身ずぶぬれの藪漕ぎでみんなへたばりました。それでも最終日、山の中の廃村跡に黄色い福寿草が点在しているのを目にしたときは、それまでの疲れが吹き飛ぶようでした。

横溝リーダー、いろいろあった春合宿だったけれど、本当にお疲れさまでした。今でも「鈴鹿」と聞くと、あの時の横溝君と福寿草が思い浮かびます。たくさんの思い出ありがとう。

長尾(山室)

山に行き休憩時に美味しそうにポリタンの水を飲む姿。

宴会の時、日本酒を旨そうな表情で飲む姿等、笑っていた顔、楽しそうな姿が今も思い出されます。山では大量の汗をかき美味しい水を沢山飲み、下山後は美味しい水の代わりに酒だった、あの頃の学生時代を懐かしく思い出します。

俺は東京から横浜に“都落ち”してきたとか、もとは旗本で「世が世であれば」お前たちは話も出来ないお殿様で有るとか・他愛のない話を何度聞いた事か?「殿」らしく歴史好きで茶目っ気の有る話や、自分の記憶にものを言わせ先輩等の過去の話をあなたは「あの時こう言った」等、真剣に話し少し諸先輩方を困らせたりして面白い事がよくありましたね。

元気である事が当たり前であると思っていました。そこに居てくれるだけで安心を与える人柄でした。君に会えて良かった。あまり運動が得意そうではなかったのに、何でワングルに入部したのか?聞きそびれ今でも謎です。今度会う時は、先輩としてそちらの作法を得意げに指導してくれる事だと思います。

また会うその時まで、今はさようなら。

山崎

－夏の苗名小屋－

在学中には海で山田君が、卒業後には山で中川君が亡くなっている。その数年後には、まだ37歳の横溝君が脳内出血で倒れてしまった。

病院へ見舞った時に彼から聞いた話であるが、まだ手の感覚が戻らない頃に「第三の手」の感覚があったというのだ。その手で「色々なもの」にさわることができて面白かった、と意味深なことをのんきに語っていた。退院後も身体に麻痺が残り大変な苦勞をしたと思う。

最後に会ったのは2020年の正月、彼の自宅で新年会を開いたときである。退職していた私は一緒に夏の苗名小屋へ行くことを提案したが、結局、行きがたい状況になってしまう。実現できなくて残念だった。思い切って行っておけば良かったと後悔している。

溝畑

山登りなど慣れていない新人の頃、喉が渇いたり足が痛くなったり、それを素直に表現するヨコミゾクンが忘れられません(根性無しめ!)。けれども、素晴らしい景色に出会った時も同様の素直さで目を輝かせて喜び、私が困った様子をしていれば大丈夫か?と心配してくれる(それで何をしてくれるという訳でもありませんでした)大事な仲間でした。ちゃんこ屋さんで、また会えると思っていたのに。

寂しいけれど、ヨコミゾクンの声は頭の中で再生できる気がします。
心から、ご冥福をお祈りいたします。

坂元 (渡部)

横溝君の訃報を知ったのは突然で、ビックリするとともに残念でした。彼は若くして体が不自由になってしまいましたが、そんな境遇にも負けずに強い人であったと思われます。彼との思い出は、山行中の苦しげな表情とは打って変わった壮行会や打ち上げでの満面の笑顔と、彼が卒業してから「お前ら学生は貧乏だから」と言ってよく飲みに来て行ってくれた際に、ワイシャツのお腹のボタンを飛ばしながらの笑顔です。話の内容は全く覚えていませんが、とにかく元気な思い出です。

体が不自由になった後も、ワングルの会合にはよく出かけて行って楽しんでいたので、先輩後輩からも愛される人物が、急に逝ってしまったのは本人もびっくりだったでしょう。ワングルTシャツを着て会報を広げたままだったと聞き、楽しかった夢のように自由に山に登り飲んで騒いでいることかと思えます。

山本

振り返ると、次の2点が心に残っていて、彼の心遣いに感謝しています。個人的なことですが、書かせていただきます。①大学1年の正月に旧横溝邸でご馳走になりました。ずいぶん後になって聞いたところ、「元気がないから励まそうと呼んだ」ことでした。ありがとう。②結婚披露宴の司会進行を快く引き受けてくれ、滞りなくやり遂げてくれました。事前の打ち合わせのとき、いくつかの提案もしてくれました。お世話になりました。重ねて、ありがとう。

最後に、心よりご冥福をお祈りいたします。

岩崎

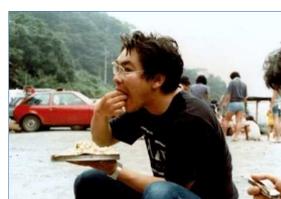
40年前の横浜駅夕方、就職で宮崎・延岡に向かう夜行列車の君を見送ったのが、昨日のこのように懐かしい。その後旭メディカル名古屋支店勤務となり、実家に戻ることとなった私と暫くの間、仲良くさせてもらいました。

仕事は透析チューブの営業、中央線多治見から木曾福島まで管轄、病院関係者の接待で夕方から本番、一度営業に出ると2週間くらいはホテル住まい、すごい世界で生きているんだと思ったものです。悩みを聞いて貰ったり、ドライブもしましたね。山田君のお墓参りのこと覚えてますか。大歓迎を受けて、何度も休憩・仮眠をとって何とか名古屋・塩釜口のアパートに着いたのが朝の3時くらい、君が大好きだったドラゴンクエスト、はじめてやらせてもらいましたよ。得意気に語る君の笑顔が懐かしい。コロナ禍、オリンピック、行進曲に身震いました。合掌

籠橋

私は横溝君と一緒にパーティーになった時の山中の記憶がほとんどありません。私にとっての横溝君の思い出は21期の仲間が還暦を迎え老いと向き合う頃から、ワングル関係の飲み会に参加することが多くなり、彼の横で一緒に酒を飲みながら、よもやま話をした時の記憶。彼は両親を看取り独り暮らしになって身も心も淋しかったと思いますが、2度も伴侶に先立たれた私の哀しみとどこか共通の人間のかなしさと感じていたように思うのです。大学時代の仲間との邂逅(かいこう)が、横溝君の人生にとって、独りぼっちぼつねんと生きて行かねばならなくなった時まで続き、白木君や村松君をはじめとするワングルの仲間の心の支えが、横溝君をどれくらい勇気づけられたことか、と思うのです。ご冥福を祈ります。 合掌

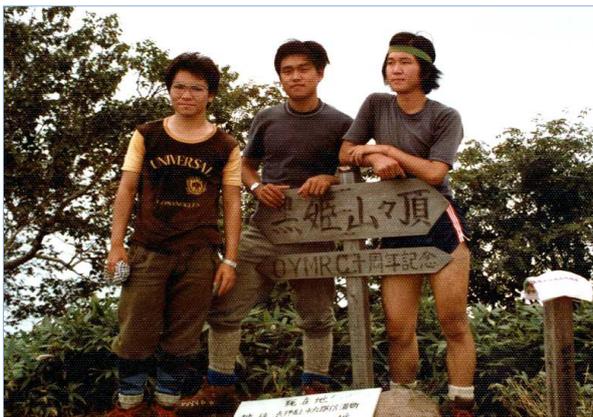
村石 (椋代)



●在りし日の横溝真司君
★1977年10月L養 尾瀬



★1978年8月PW 黒姫



★1978年10月PW 巻機



★1979年3月春合宿 鈴鹿



★1978年5月新錬二次 奥秩父



★1978年10月L養 北八ヶ岳



★1979年3月PW 道志



★1979年8月夏合宿 大雪



●横溝君の現役時代の山行記録【歴史資料館より抜粋】

年	月	日	行事	コース
1977	5	28-31	新人練成二次合宿(奥秩父)	(十文字峠-甲武信岳-雁坂峠-飛竜山)
1977	7	2-3	第2回トレーニング合宿丹沢	(戸沢出合-塔ヶ岳-ヤビツ峠)
1977	7	20-31	夏合宿南ア	(荒川三山-塩見岳-白峰三山)
1977	8	19-23	PW北ア	(黒部五郎岳-双六岳-槍ヶ岳)
1977	10	15-17	L養合宿尾瀬	(大清水-燧ヶ岳-至仏山)
1978	1	22	トレーニング合宿(雪上訓練)奥多摩	(日原-鷹の巣山ピストン)
1978	3	15	スキーツアー後発	(笹ヶ峰)
1978	3	24-26	PW両神山	(納宮-清滝-両神山-白井差口)
1978	4	2-7	春合宿丹沢	(焼山-黍殻山-神ノ川-畦ヶ丸-石割山)
1978	4	28-30	里合宿雁坂	(三峰口-雁坂峠-新地平)
1978	5	13-14	新棟一次合宿丹沢	(大倉尾根-塔ノ岳-表尾根-大倉)
1978	5	29-1	新棟二次合宿奥秩父	(金峰山-国師岳-塩山)
1978	6	16-18	PW天城	(万三郎-八丁池-与市坂)
1978	7	8-9	夏トレ	(有間小屋-仁田山-蔵山-名郷)
1978	7	19-31	夏合宿南ア	(畑薙第一ダム-茶臼岳-赤石岳-荒川岳-三伏峠-樺沢)
1978	8	12-18	PW苗場	(和田小屋-苗場山-小松原小屋-金城山-見玉)
1978	8	25-28	小屋周W(黒姫・火打)	(七曲-黒姫山-笹ヶ峰-火打岳ピストン-笹ヶ峰)
1978	10	12-15	リーダー養成合宿	(稲子湯-麦草峠-三ッ岳-横岳-蓼科山親湯)
1978	10	28-30	PW巻機	(桜坂-御機峠-牛ヶ岳)
1979	1	21	冬トレ	日原-鷹ノ巣山
1979	3	5	スキーツアー先発	笹ヶ峰
1979	3	20-22	PW道志	(蜂宮跡-御正体山-三国峠-湯船山-山市場)
1979	3	28-44	春合宿鈴鹿	(宮妻峠-鎌ヶ岳-御在所山-御池岳-坂本)
1979	5	11-13	新棟一次合宿丹沢	(大倉尾根-鍋割山-寄)
1979	5	30-3	新棟二次合宿奥秩父	(梓山-十文字峠-甲武信岳-丹波)
1979	6	23-25	PW那須	(郡須岳-朝日岳-甲子温泉)
1979	7	7-8	夏トレ合宿丹沢	(天神尾根-表尾根-ヤビツ峠)
1979	7	23-1	夏合宿十勝	(十勝連峰-オプタテシケ-トムラウシ-旭苗)
1979	10	14-16	L養	(黍殻山-蛭ヶ岳-犬越路-西丹沢)
1979	10	26-29	PW尾瀬	(鳩待峠-黒岩山-鬼怒沼湿原-女夫淵温泉)
1980	3	23-25	道志PW	(上野原-菜畑山-二六夜山-道坂)
1980	4	2-7	春合宿丹沢	玄倉-塔ヶ岳-畦ヶ丸山-山中湖
1980	5	17-18	新棟1次合宿丹沢	(大倉-塔ヶ岳-鍋割山-寄)
1980	6	5-6	夏合宿準備合宿三ッ峠	(河口湖-三ッ峠山-三ッ峠)
1980	7	21-29	夏合宿南ア	(塩川-塩見-北岳-仙丈-甲斐駒(北岳から広河原へエスケープ))

※小屋関連行事、追いコン等は含まれておりません。

常盤台・みなとみらい横浜全体を見渡せる久保山墓地は、殿ご自慢の風景でしょう。 合掌

